

令和2年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達学		講義	西田 和子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
乳児期から学童期までの言語発達について学ぶ。言語発達が、運動や認知、対人関係といった様々な事柄がかかわることを捉え、言語発達の基本的な知識を修得する。ことばの側面から子どもの発達を捉え、言語発達の障害について理解を深める。				
授業の到達目標				
1. 乳幼児、幼児期、学童期の各段階の特徴を理解し、説明することができる。 2. ことばの発達を通して子どもの全体発達を捉えることができる。 3. ことばの発達と発達理論の関連を説明することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	ことばの発達とは ー言葉の発達の理論的基礎ー			
2	前言語期 乳児期のコミュニケーションの発達①			
3	乳児期のコミュニケーションの発達②			
4	認知的基盤の発達①			
5	認知的基盤の発達②			
6	音声言語とコミュニケーション			
7	語彙獲得期 語いの獲得			
8	認知的基盤・コミュニケーションの発達			
9	構文獲得期 語彙・構文の発達①			
10	語彙・構文の発達②			
11	談話の発達①			
12	談話の発達②			
13	音韻認識の発達			
14	学童期 言語発達			
15	読み書きの発達			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
入門コース・ことばの発達と障害1 ことばの発達入門	秦野悦子	大修館書店		
言語聴覚療法シリーズ10 改定言語発達障害 I	大貝 茂	建帛社		
子どもとことば	岡本夏木	岩波書店		
発達の心理 ことばの獲得と学び	内田伸子	サイエンス社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第2版	監修 藤田郁代	医学書院		
言語聴覚療法シリーズ2 改訂 言語聴覚障害総論 II	山崎京子	建帛社		
自由記載				
備考				